

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	産業フェア in 信州 2019 『先端技術で拓く、信州の未来～AI、自動運転で産業や生活が変わる～』
事業主体 (連絡先)	産業フェア in 信州実行委員会 担当：今井 寛 TEL：026-227-2428 / FAX：026-227-2758
事業区分	産業振興・雇用拡大に資する事業（その他地域の特性、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業）
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,450,414円（うち支援金：3,337,000円）

事業内容

急激に変化する産業や社会の中で、地域企業が取り組むサービスや製品を一堂に展示し発信することにより、地域に誇りを持ち、若年層の地域定住に結びつくと考え。そして、今後生活が大きく変わるであろう最先端技術を発信することにより、“ものづくり”への関心を持ってもらう目的とした。



【先端技術を体験する来場者】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 企業間の商談や地域住民への企業や製品・サービスのアピールにより、認知度が上がった。また、先端技術を展示したことにより、今後の技術開発やサービスへの参考になった。
- ② 講演会では講師による講和から、今後進める製品開発や事業展開に対しての考え方や開発などの参考になったようだ。
- ③ 高校生などに企業紹介が出来、人手不足などから今後の採用に結びつくことが期待される。

【目標・ねらい】

- ①地域企業の販路拡大
- ②産学官連携による新分野進出
- ③次代を担う人材育成
- ④地域住民への発信

※自己評価【 A 】

【理由】

先端技術を北信地域の企業および住民に発信できた。また、商談会等企業間交流も出来、企業の活性化に役立った。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後も商談会や技術・サービスの展示を通じ、企業間の取引拡大や産学官連携・交流をすすめ、また地域住民への周知を行うことによる人材確保や地域産業への知名度向上を図りながら、地域活性化に努めるため継続実施していきたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある

(別記様式第12号) (第3の8関係)

平成31年度(令和元年度) 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	さかき発 ワイン文化醸成事業
事業主体 (連絡先)	株式会社 坂城町振興公社 埴科郡坂城町大字網 2002 番地 4
事業区分	主となる部分 ⑥エ 商業の振興 関連する部分 ⑥イ 農業の振興と農山村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,294,922 円 (うち支援金: 2,399,000 円)

事業内容

開設5年以内の新しい個性豊かな町内ワイナリーをはじめとする13ワイナリーと地元飲食店など9つの飲食店がしなの鉄道坂城駅多目的広場と169系電車に一同に会し、坂城産ワインをはじめとする「NAGANOWINE」の美味しさを発信し、地域のワイン振興とワイン消費の裾野拡大につなげる機会として実施するとともに、ワインを生活の一部として浸透させ、ワインを地域資源とした潤いと交流のあるコミュニティ形成とワイン文化醸成を推進するためのセミナーを開催した。

- ・坂城駅前葡萄酒祭(しなの鉄道坂城駅多目的広場)約2,000人
- ・ワインセミナー(169系車両内及び中心市街地コミュニティセンター)169系車両20名 コミュニティセンター42名



【坂城駅前葡萄酒祭の様子】

【目標・ねらい】

- ① 坂城産及びNAGANOワインの認知度向上を図る。
- ② ワインへの認識を高めることで、地域のワイン振興の機運を醸成する。

事業効果

①町内の他、町外からもしなの鉄道などを利用した目標来場者1,000人を大幅に上回る2,000人以上の方の来場により、坂城産ワインや「NAGANOWINE」の情報発信を幅広い来場者に対して実施し認知度の向上が図られた。
②坂城産をはじめとしたワインを味わい楽しむことで、美味しさを実感し「NAGANOWINE」への関心が高まるとともに、セミナー開催を通じてワインへの興味や認識が深まることで、住民生活にワインをより身近なものとして浸透させる機会となった。

※自己評価【A】

【理由】

目標来場者1,000人を大幅に上回る2,000人以上の来場者に対する坂城産ワイン及びNAGANOWINEの情報発信と認識を高める取り組みとなった。

今後の取り組み

※今後、事業効果とつなげていくが記載すること。

初回となるイベントは、同日開催のばら祭りと連携し、双方の会場に回遊性を持たせるためシャトルバスを運行することで町全体に賑わいを創出するなど、多くの方が坂城町を訪れ楽しんでいただくイベントとなった。数多くの来場者があり「NAGANOWINE」による地域振興に大きな期待と可能性が感じられる。地域発のより良いイベントとして継続して取り組み、ワインを地域の新しい文化として浸透させるとともに、更なるワインぶどうの産地化を推進していく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある